土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一般国道433号道路災害防除事業に伴う測量設計業務委託(加計工区)
事業・工事名	一般国道433号道路災害防除事業に伴う測量設計業務委託(加計工区
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県山県郡安芸太田町加計	北緯	34° 36' 19.9000"
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和2年12月16日～ 令和2年12月17日	東経	132° 19' 27.2000"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 175.66m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	4.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機: YBM製-05D / エンジン: ヤンマー NFD-9E / ポンプ: MS-513

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位/測定月日
	174.96	0.70		玉石混じり砂礫		淡褐灰			0.0～0.7m玉石混じり 礫は非常に硬質で60%程度含む。	12/16 0.80
1 2 3 4	171.66	4.00		花崗岩		淡褐灰	rd5		0.7m～岩盤。 柱状コアにて採取。 亀裂はやや多く、粗砂～細礫を挟む。 破砕部もありCL級主体で，一部CM級 GL-1.7～2.0，2.1～2.4m間は中硬岩クラス	
5 6 7 8 9										

標準貫入試験

深度	N値	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.00	50以上	50			50	30	
1.03		30			30		
2.00	50以上	貫入不能			50 / 0	0	
3.00	50以上	貫入不能			50 / 0	0	
4.00	50以上	貫入不能			50 / 0	0	

深度 — N値図（0 10 20 30 40 50 60）

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/16